



©Tourism Toronto/ www.torontowide.com



©Tourism Vancouver/ Robert Kent

駐在員

駐在員

駐在・長期滞在者事情	101
駐在員インタビュー・トロント	102
駐在員インタビュー・バンクーバー	103

カナダの駐在員事情

トロント・バンクーバーに在留する邦人数とその内訳

トロント

外務省の海外在留邦人数調査統計(平成25年要約版)によると在外公館別トロントの在留邦人数の総数は、1万7,185人である。そのうち男性6,456人、女性1万729人と女性が男性に比べ多い。在留邦人総数のうち、永住者は、9,789人(男性:3,535人、女性:6,254人)、3ヶ月以上滞在の長期滞在者数は、7,396人である(男性:2,921人、女性:4,475人)。

トロントの長期滞在者の職業

民間企業関係者:合計770人
 留学生、研修者、教師の合計:2,426人
 報道関係者:1名
 政府関係職員:合計21人
 自由業関係者:合計70人
 その他職業:合計2,411人

トロントの日系企業数

トロントの日系企業数は229拠点ある。その内訳は、本邦企業支店28、本邦企業駐在出張所10、本邦企業100%出資現地法人本店は97、本邦企業100%出資現地法人本店以外が61、日本人が海外に渡って興した会社は7である。

バンクーバー

バンクーバーの在留邦人数の総数は、3万1,039人である。そのうち男性1万991人、女性2万48人と女性が圧倒的に多い。在留邦人総数のうち、永住者は、1万9,740人(男性:7,407人、女性:1万2,333人)で、永住者以外の3ヶ月以上滞在の長期滞在者数は、1万1,299人である。(男性:3,584人、女性:7,715人)。

バンクーバーの長期滞在者の職業

民間企業関係者:合計1,289人
 留学生、研修者、教師の合計:5,100人
 報道関係者:3名
 政府関係職員:合計23人
 自由業関係者:合計253人
 その他職業:合計3,322人

バンクーバーの日系企業数

バンクーバーの日系企業数は245拠点ある。その内訳は、本邦企業支店7、本邦企業駐在出張所8、本邦企業100%出資現地法人本店は63、本邦企業100%出資現地法人本店以外が33、日本人が海外に渡って興した会社は129となっている。

様々な種類の就労ビザと申請プロセス

カナダで就労をするためには就労ビザ(ワークパーミット)を取得することが必須である。

一番取得しやすくポピュラーなのは、ワーキング・ホリデー・ビザである。これは、カナダと日本の2国間の取り決めに基づき、両国の若者に互いの国の文化や生活様式を理解する機会を提供し、その間の滞在費を補うための就労を許可する制度である。飲食業界を始めとする多くのホスピタリティ産業で彼らの労働力が大きな割合を占めている。ワーキング・ホリデー制度は30歳(ビザ申請時)までの若い人材がお互いの国で1年間、旅行や仕事の経験を得ることを可能にしている。

ワーキング・ホリデー・ビザは、オープン・ワーク・パーミットという種類のビザで、雇用主以外のもとは就労できない一般的な就労ビザとは異なり、雇用主が指定されていない就労ビザである。

オープン・ワーク・パーミットには様々な種類があり、カナダで大学やカレッジと呼ばれる職業訓練に特化した専門学校を卒業した人が申請できるポスト・グラデュエート・ワーク・パーミット(Post-Graduation Work Permit)や移民申請をしている人が取得できる就労ビザ、カナダで就労・就学している人の配偶者用の就労ビザ、また、それ以外にも住み込みケアギバー(Live-in Caregiver)の就労ビザや日系企業の駐在員が取得する企業内転勤就労ビザ(Intra-Company Transferee Work Permit)などもある。

就労ビザの申請の基本的な手順としては、まず、雇用主がカナダ人材技能開発省(Service Canada / HRSDC)に外国人雇用許可(LMO)を申請する。申請後、許可証が発行されると、就労ビザを市民権・移民省(CIC)に申請することが可能となり、ビザを取得することができる。最近では、外国人雇用許可(LMO)を取得することが非常に難しくなっている。申請者のポジション、職務内容、給与、過去の就労経験年数や、会社がその人物を必要とする理由、また、カナダ人や移民を雇う努力をしたが、該当者がいなかったということや、申請者を雇うことで将来的にカナダ人、移民に雇用の機会を作ることができるか・・・など、様々な条件を満たしていることを証明する必要がある。

年々厳しくなる移民政策

近年移民政策に揺れるカナダ。カナダ人の就業率の低下や、移民にかかる社会保障コストの増大など、移民はカナダ経済に多大な影響を及ぼす存在となっている。2013年11月には、移民申請のカテゴリーで最も人気があった、カナディアン・エクスペリエンス・クラス(Canadian Experience Class-CEC)において移民申請受け入れ件数に制限が設けられ、フード・サービス・スーパーバイザー職などいくつかの職種が申請対象外となり、特に多くの若者に影響を与えた。また2014年2月には、投資移民プログラムおよび起業移民プログラムの廃止が発表され、富裕層を中心に大きな影響を与えている。

カナダ移民局統計にみる、カナダ国内の外国人就労者

カナダ

2012年12月1日現在

国	人数
フィリピン	47,470
米国	39,886
メキシコ	23,683
インド	22,281
フランス	18,961
オーストラリア	17,450
英国	15,715
中国	15,034
韓国	11,837
日本	8,899

出所:カナダ移民局(2014年1月調べ)※26

トロント

2012年12月1日現在

国	人数
フィリピン	8,975
インド	8,110
米国	7,815
中国	3,900
韓国	2,680
英国	2,675
日本	2,480
アイルランド	2,245
メキシコ	2,095
オーストラリア	1,725

カナダ移民局ヒヤリングによる回答(2014年1月調べ)

バンクーバー

2012年12月1日現在

国	人数
オーストラリア	5,065
フィリピン	3,425
米国	3,060
韓国	2,240
メキシコ	2,010
中国	2,005
日本	1,945
英国	1,795
インド	1,145
ドイツ	1,085

カナダ移民局ヒヤリングによる回答(2014年1月調べ)

外国人労働者の男女別職業スキルレベル / 2012年

別職業スキルレベル	男性	女性	男女合計
レベル0-管理職	7,691	1,681	9,372
レベルA-専門職	28,878	8,644	37,522
レベルB-技術職	27,774	5,181	32,955
レベルC-事務職	32,348	9,429	41,777
レベルD-単純労働者	9,831	3,567	13,398
レベル記載なし	36,536	42,010	78,546
小計	143,058	70,512	
性別記載なし			3
合計			213,573

出所:カナダ移民局(2014年1月調べ)※27

2012年に電通がモントリオールの広告会社・Bos社を買収・統合したことで誕生したDentsuBos社。

そのDentsuBos社唯一の日本人として2012年よりトロントに赴任された久保さんに、カナダ生活1年半の経験を伺った。

久保恵一さん

DentsuBos
Vice President, International Development



まず、赴任当初に抱いていたカナダのイメージを教えてください。

私は以前シアトルに留学していたことがあって、留学当時によくバンクーバーを訪れていたのですが、赴任前からカナダに対して親しみを感じていましたし、安全面や生活環境面で特に強い不安はありませんでした。ですが、妻と息子3人（11歳、8歳、2歳）と共に実際にトロントで生活をするとなると、やはり家族がスムーズにトロントでの生活に適應できるのか、という心配がありました。一番気がかりであった子供たちの学校については、赴任前に出張で何度かトロントを訪れていたときに、社員たちに良い学区を教えてくださいと目星をつけておき、家探しもその学区に住める家ということを一条件に行きました。そうして迎えた登校初日、さっそく自宅に友達を連れてくるなど、子供たちはすぐに学校生活にも溶け込んだようでとても安心しました。

約1年半トロントで駐在された感想を教えてください。

赴任後2〜3ヶ月経った頃からこちらの生活には慣れては来ましたが、気候の変化や社会の仕組みを知るためにはやはり1年くらいはかかったかなという感じですね。そして1年半経った現在は、カナダの生活により広く、そして深く関わるようになり、今までとは別のステージで、新たな経験をしているという感じです。

余暇の過ごし方を教えてください。

土曜日には子供たちをトロント補習授業校に連れて行き、その後長男と次男はトロントにある日系コミュニティサークルでサッカーをしています。そして、私自身は旅行やアウトドアが好きなもので、日曜日にはアルゴンキン国立公園や車で1時間半程のナイアガラの滝に行ったり、湖に釣りに出掛けて大きなサーモンを釣ったりと、アウトドアライフを楽しんでいます。これぞカナダの醍醐味でしょうね。アウトドア好きの私には、すぐくカナダは合っているように思います。これからは、冬にはスノーモービルやアイスフィッシング、夏にはキャンピングカーでキャンプをしたり、カヌーで湖を横断したりと、カナダならではのことに色々挑戦していきたいと思っています。

これまでのトロント生活で苦勞されたことを教えてください。

赴任当初の話ですが、私以外に日本人がいないため、どのエリアで家を探すべきか、またガスや水道、電気やゴミなどの、生活をスタートするための手続きをどうすればよいのか、といった駐在員の視点でのアドバイスを得るのが難しく、何事にも時間と手間がかかり苦勞しました。また、例えば、ケーブルテレビやインターネットの工事を頼んでも業者が予定日に来なかったり、購入した家具と違う商品を留守宅に配送された上に引き取りに来ないなど、カナダと日本におけるサービスに対する感覚の違いに慣れるまでに少し時間が掛かりました。

ビジネス環境における日本との違いを教えてください。

基本的には大きく変わらないと思いますが、時間の使い方に対する考え方は違うと感じますね。カナダではワーク&ライフバランスが重視され、仕事とプライベートがはっきりと分かれています。日本では業界的にも深夜遅くまでの勤務が日常でしたが、カナダでは同じ業界であっても通常時であれば基本的に午前9時から午後5時までの就業時間で、夏には退社時間がさらに早くなります。就業時間が短いから仕事量が少ないのか、というところも限らず、意思決定者が明確なため、物事を決めるまでの時間が短く、必要性が低いことには極力時間を掛けないなど、生産性は高く、時間の使い方が上手いですよ。どちらがよい悪い、ということではありませんが、時間をかけて漏れなく微細にわたって多くのことを検討する日本人のやり方とは、非常に違うところだと思います。これにも関連して、日本の場合、「先ずは書類」と、書類なしには会議や業務が始まらない印象がありますが、こちらでは書類の有無よりも内容の濃いディスカッションすることに重きが置かれているので、書類作成時間が少ないことはもちろん、会議が短く、効率的に時間が使われているように感じます。

また、子育てをしている共働き夫婦が、子供の状況にあわせて、それぞれの業務時間を調整したり、休暇を取ることは当たり前であり、それを会社や社会も当然のこととして受けとめています。休日も日本に比べれば遥かに多く、夏の長期の休みに加え、冬もバカンスを取ることは珍しくあ

りません。プライベートを充実させる環境や社会システムがあるからこそ、仕事に打ち込める。カナダ人がそのような考えのように感じますね。

カナダで働く魅力を教えてください。

私には小さい子供がいますので、先程申し上げたとおり、ワーク&ライフバランスという点に魅力を感じます。また、トロントがあるオンタリオ州は人口の三分の一を移民が占めるなど、世界中から来た人材と一緒に働けるのもカナダの大きな魅力のひとつです。加えて、トロントは北米第4位の大都市でありながらも、私の感覚的には大き過ぎなく適度なサイズで、人的ネットワークを作りやすい環境にあることが挙げられると思います。日系コミュニティを例にすると、トロントに住む日本人はおよそ1〜1.5万人といわれており、トロント全体の規模の割には人口が少ないと思いますが、それゆえに、コミュニティの繋がりは濃く、お互いにサポートし合える環境にあると思います。企業間だけでなく、移住者やワーキングホリデーを中心とした若者など様々なコミュニティが存在しているので、多種多様な人たちとネットワークを広げることができます。

カナダで働く上で心得ておくべきことを教えてください。

以前、「明文化されていないカナダの職場でのルール」という講座をトロント大学でとったことがあります。その中で、「最初の会議では周りの意見を聞くことに徹し、その後回数を重ねていくうちにだんだんと自分の意見を発表していかないと、カナダ社会では受け入れられない。新しい環境に来た当初は出しゃばりすぎないことが大切だ」という講義がありました。北米という激しい競争社会であり、自分の意見を声高に主張し、周囲を説得しながら目標を実現していく強いリーダーシップこそ価値がある、というイメージが私にはあります。講義での指摘は、何だか日本の話を聞いているようで新鮮でしたが、講義後、職場での様子を意識して観察してみると、確かに自己を主張しながらも強引に突破することはなく、聴くところは周囲の意見をきちんと聴くという人が多いように感じています。私たち日本人にとって、とても働きやすい人たちだなと思います。

2013年に玩具・ゲーム・アミューズメント施設運営を目的としてバンクーバーに拠点を設立したバンダイナムコ。

日本人とカナダ人のゲーム開発者たちの感覚をブレンドし、面白いゲームを開発・リリースするため、2014年に新しく赴任した中山さんに、バンクーバーでの生活立ち上げについて、体験を伺った。

中山淳雄さん

BANDAI NAMCO Studios
Executive vice president, development



出張生活から本格的な駐在生活が始まりますが、ご苦労されたことや知らなかったことは？

おそらく全ての駐在の方が経験されていることではありますが、30年以上日本で暮らしてきた人間が、戸籍や住宅移転に始まり、銀行口座・クレジットカード・保険、税金、携帯開設、電気水道、テレビ、子供の学校と何から何までOSごととアップデートするような体験は苦勞の上ない感じですが、相場もわからないためきちんと調べてからと思いつつ、日本での業務引き継ぎとカナダでの新規業務開拓と仕事も苛烈を極め、もう何でもいので好きにしてくれ、というのが駐在員の、まあ一般的な始まりなのだと薄々感じ始めました。海外駐在の歴史が長い会社さんは「駐在員パッケージ」みたいなものがあるので、ある程度の苦しみは緩和される仕組みだったりしますが、これからという会社は自らが地雷になって後人のために道を踏み鳴らすようなことをしております。

カナダそしてバンクーバーの印象を教えてください。

旅行、仕事で様々な場所を体験しましたが(アジア、中東、欧州、アフリカ、米国、オセアニア)、ここは日本人にとって希少な「ストレスなく過ごせる外国」の一つだと思います。暑くても寒くても機能停止してしまう脆弱な自分にとっては、気候のストレスから解放されているというのが一番ですが、人のストレスがない、食事のストレスが比較的小さめ、というので殺人的な住宅コストを除けば本当に過ごしやすいところ。ケベックやオンタリオの方々とも付き合っていると、バンクーバーはカナダ人もうらやむリゾート地であり、「えっ、バンクーバーで働いてそれ仕事になるんですか？」的な反応をされることもあります。そしてカナダは全体的に米国人よりちょっと田舎で、ワーク・ライフ・バランスを求めている人が多いと思います。

この地の一番のおすすめポイントは多文化なところです。これ、米国だろうと、中国だろうとアフリカだろうと、特に日本のようなモノカルチャーな文化から見ると本当に新鮮です。アジア人もヨーロッパ人もアメリカ人も、コスモポリタンな環境で異質を受け止めるというのは一部欧州先進国やオーストラリア、そしてこのカナダでしか味わえない独特なものですし、自分自身がそうした環境で学べることは非常に大きいと思っております。

ビジネス環境で日本との違いを教えてください。

仕事の厳しさ・時間拘束性でいうと東京>米国>トロント>モントリオール>バンクーバーの順に楽になっていきます。オセアニアには負けるかもしれませんが、ワーク・ライフ・バランスという意味ではカナダは非常に優れた場所です。それでいて他の欧米先進国のように「ロジカルでフェアなビジネス環境」が守られております。アポイント5分前に参上しておく必要もなく、上司から先に名刺交換することもなく、スーツを着用する機会も少なく、ちょっとラフでルーズで、忘れっぽい顧客先に悩まされることもあります。基本的にビジネス環境はよいですね。それよりも行政があまりに官僚的でないところが驚いています。民間人はどんどん採用しますし、そもそも州政府関係者が代理でビジネスアポイントまで取ってくれたり、企業誘致に賭けるこの国の覚悟や体制には感嘆します。

バンクーバーのゲーム産業について教えてください。

バンクーバーのゲーム産業はなかなか歴史が古く、そもそも20年以上前にカリフォルニアの映画やゲームなどの産業誘致を試み、エレクトロニック・アーツ(以下EA)という世界大手の一角が数千人の雇用を構えたところからスタートしております。おかげで石を投げればEA出身者にあたるとい

うほど、ほとんどEAで学び育った人材が産業クラスターをつくり、そのネットワークで小さなベンチャー企業がざくざく湧いては消えております。ただ最近ちょっとモントリオールの力強い税制優遇に劣勢を極めており(こちらはUBIというフランスの企業がこれまた3,000人規模で拠点を構えており、そこを中心に発展)、わりと小さめのゲーム会社が多いイメージでしょうか。それでも世界最大のマーケットである米国と文化的親和性が高く、学校や産業クラスターによる人材育成効果もあり、ゲーム開発にとって必要な要素はそろっている土地です。米国と日本が飽和気味にあるゲーム産業に対して、この国はまだまだ伸びる余地がある、そういう思いでバンダイナムコとしても拠点展開に踏み切りました。

余暇の過ごし方などで、ライフスタイルに取り入れたいことはありますか？

とにかく日本ではモチモチだった「朝から晩まで身を粉にして会社に捧げますっ!!」という人材は、この国では一切通用しません。アフターファイブでいかに過ごすかがカナダの同業者やパートナーからも敬意を集める大事な部分ですので、3年ぶりに大学時代のレーサーバイクをひっぱりだし、7年ぶりにカピカピのウェットスーツでスキューバダイビングを試み、10年ぶりに旧時代のスノーボードにヤスリをかけ、とにかくアクティビティと呼べることには全部ひととお手手をだしてみようかなと思っております。あとは家族ですね。ここにくるまでに多大な迷惑をかけてしまった家族に、きちんと時間をかけて、豊かな暮らしができるように頑張ります。あ、あとは教習所を出てから一切触れることがなかった免許が、必須になります。ちょっとこちらで通用するの不明ですが、若葉マークを貼り付けて、とにかく周りの方に迷惑をかけないよう、車の練習をしなければなりません。まあ忙しいですが、新しい生活はとて楽しんでおります。

References (データ出所一覧)

- ※1 Statistics Canada. Chart 1 Real gross domestic product grows in November Last updated January 31, 2014 <http://www.statcan.gc.ca/daily-quotidien/140131/dq140131a-eng.htm?HPA> (Accessed January , 2014).
- ※2 Employment and Social Development Canada. Real Gross Domestic Product (GDP) per capita, Canada, 1981-2011 (2002 chained dollars) HRSDC calculations based on Statistics Canada. Gross Domestic Product (GDP), expenditure-based, provincial economic accounts, annual (CANSIM Table 380-0017). Ottawa: Statistics Canada, 2012; and Statistics Canada. Estimates of population, by age group and sex for July 1, Canada, provinces and territories, annual (CANSIM Table 051-0001). Ottawa: Statistics Canada 2011. Last updated March 11, 2014. <http://www4.hrsdc.gc.ca/3ndic.1t4r@-eng.jsp?iid=26> (Accessed March ,2014).
- ※3 Statistics Canada Consumer Price Index, by city (Index) Source: Statistics Canada, CANSIM, table 326-0021. Last updated January 24, 2014 <http://www.statcan.gc.ca/tables-tableaux/sum-som/101/cst01/econ45a-eng.htm> (Accessed January , 2014)
- ※4 Statistics Canada Consumer Price Index, by city (Index) Source: Statistics Canada, CANSIM, table 326-0021. Last updated January 24, 2014 <http://www.statcan.gc.ca/tables-tableaux/sum-som/101/cst01/econ45a-eng.htm> (Accessed January , 2014)
- ※5 Statistics Canada Gross domestic product (GDP) at basic prices, by North American Industry Classification System (NAICS), provinces and territories Source: Statistics Canada. Table 379-0030 - Gross domestic product (GDP) at basic prices, by North American Industry Classification System (NAICS), provinces and territories, annual (dollars), CANSIM (database). Last updated November 08, 2013 <http://www5.statcan.gc.ca/cansim/a05?lang=eng&id=3790030> (Accessed November , 2013)
- ※6 Statistics Canada Real gross domestic product, expenditure-based, by province and territory Source: Statistics Canada, CANSIM, table 384-0038. Last updated January 15, 2014 <http://www.statcan.gc.ca/tables-tableaux/sum-som/101/cst01/econ50-eng.htm> (Accessed January , 2014)
- ※7 Statistics Canada Census families in private households by family structure and presence of children, by census metropolitan area (2011 Census) (Ottawa-Gatineau, Kingston, Peterborough, Oshawa, Toronto) Source: Statistics Canada, 2011 Census of Population and Statistics Canada catalogue no. 98-312-XCB. Last updated February 13, 2013. <http://www.statcan.gc.ca/tables-tableaux/sum-som/101/cst01/famil121c-eng.htm> (Accessed March 2014)
- ※7 Statistics Canada Census families in private households by family structure and presence of children, by census metropolitan area (2011 Census) (Kelowna, Abbotsford, Vancouver, Victoria) Source: Statistics Canada, 2011 Census of Population and Statistics Canada catalogue no. 98-312-XCB. Last updated February 13, 2013. <http://www.statcan.gc.ca/tables-tableaux/sum-som/101/cst01/famil121g-eng.htm> (Accessed March 2014)
- ※8 Statistics Canada Detailed household final consumption expenditure, provincial and territorial, Ontario "Furniture and furnishings, Major household appliances, New passenger cars, New trucks, vans and sport utility vehicles, Used motor vehicles, Other vehicles, Telecommunication equipment, Audio-visual and photographic equipment" Source: Statistics Canada. Table 384-0041 - Detailed household final consumption expenditure, provincial and territorial, annual (dollars), CANSIM (database). (accessed: 2014-03-23) Last updated November 08, 2013 <http://www5.statcan.gc.ca/cansim/a26?lang=eng&retrLang=eng&id=3840041&pattern=&csid=> (Accessed March 2014)
- ※9 Statistics Canada Detailed household final consumption expenditure, provincial and territorial, British Columbia "Furniture and furnishings, Major household appliances, New passenger cars, New trucks, vans and sport utility vehicles, Used motor vehicles, Other vehicles, Telecommunication equipment, Audio-visual and photographic equipment" Source: Statistics Canada. Table 384-0041 - Detailed household final consumption expenditure, provincial and territorial, annual (dollars), CANSIM (database). (accessed: 2014-03-23) Last updated November 08, 2013 <http://www5.statcan.gc.ca/cansim/a26?lang=eng&retrLang=eng&id=3840041&pattern=&csid=> (Accessed March 2014)
- ※10 JETRO 投資コスト比較 (トロント、バンクーバー) <http://www.jetro.go.jp/world/search/cost/> (Accessed March 2014)
- ※11 JETRO 投資コスト比較 (トロント、バンクーバー) <http://www.jetro.go.jp/world/search/cost/> (Accessed March 2014)
- ※12 JETRO 投資コスト比較 (トロント、バンクーバー) <http://www.jetro.go.jp/world/search/cost/> (Accessed March 2014)
- ※13 Statistics Canada. Summary statistics for food services and drinking places industry, province and territory, 2009 to 2011. "2011." Last updated February 28, 2013. <http://www.statcan.gc.ca/pub/63-243-x/2013001/001-eng.htm> (Accessed November , 2013).
- ※14 Statistics Canada. Distribution of total sales for the food services and drinking places industry, by province, 2011. "British Columbia, Canada, Ontario." (Table 5). Last updated February 28, 2013. <http://www.statcan.gc.ca/pub/63-243-x/2013001/005-eng.htm> (Accessed November , 2013).
- ※15 Statistics Canada. Statistics on selected operating expenses for the food services and drinking places industry, by province, 2011. "British Columbia, Canada, Ontario." (Table 4). Last updated February 28, 2013. <http://www.statcan.gc.ca/pub/63-243-x/2013001/004-eng.htm> (Accessed November , 2013).
- ※16 Statistics Canada. NHS Focus on Geography Series – Toronto. "Housing tenure for all households, Toronto, Ontario, Canada" (Table 1). Last updated August 06, 2013. <http://www12.statcan.gc.ca/nhs-enm/2011/as-sa/fogs-spg/Pages/FOG.cfm?lang=E&level=3&GeoCode=535> (Housing) (Accessed November , 2013).
- ※16 Statistics Canada. NHS Focus on Geography Series – Vancouver. "Housing tenure for all households, Vancouver, British Columbia, Canada" (Table 1). Last updated August 06, 2013. <http://www12.statcan.gc.ca/nhs-enm/2011/as-sa/fogs-spg/Pages/FOG.cfm?lang=E&level=4&GeoCode=5915022> (Housing) (Accessed November, 2013).
- ※17 Statistics Canada. NHS Focus on Geography Series – Vancouver. "Housing affordability for non-farm, non-reserve households, Vancouver, British Columbia, Canada" (Table 2). Last updated August 06, 2013. <http://www12.statcan.gc.ca/nhs-enm/2011/as-sa/fogs-spg/Pages/FOG.cfm?lang=E&level=4&GeoCode=5915022> (Housing) (Accessed November, 2013).
- ※18 Statistics Canada. Summary statistics for the amusement and recreation industry, Canada, 2009 to 2011. (Table 1). Last updated January 29, 2013. <http://www.statcan.gc.ca/pub/63-248-x/2013001/001-eng.htm> (Accessed November, 2013).
- ※19 Employment and Social Development Canada. Leisure – Total Leisure Time. "Average total leisure time, by age, 2010". (Chart). Source: HRSDC calculations based on Statistics Canada. General Social Survey 2010. Overview of the Time Use of Canadians. Ottawa: Statistics Canada, 2011 (Cat. No. 89-647-X, see Table 1.1). Last updated February 7, 2014. http://www4.hrsdc.gc.ca/3ndic.1t4r@-eng.jsp?iid=52#M_1 (Accessed February, 2014).
- ※20 Employment and Social Development Canada. Leisure – Total Leisure Time. "Average total leisure time, by gender, 1986, 1992, 1998, 2005 and 2010". (Chart). Source: For 2010, HRSDC calculations based on Statistics Canada. General Social Survey 2010. Overview of the Time Use of Canadians. Ottawa: Statistics Canada, 2011 (Cat. No. 89-647-X, see Table 1.1). For 2005, Statistics Canada, General Social Survey on Time Use. Overview of the Time Use of Canadians. Ottawa, Statistics Canada, 2006 (Cat. No. 12F0080-XIE, see Table 1.1); for 1992 and 1998, Statistics Canada, General social survey (GSS), average time spent on various activities for the population aged 15 years and over, by sex and main activity, occasional (CANSIM Table 113-0001). Ottawa, Statistics Canada, 2006; and HRSDC calculations for 1986 based on A. Harvey, K. Marshall, and J. Frederick, Where Does Time Go?. Ottawa, Statistics Canada, 1991 (Cat. no. 11-612MPE, No. 4, Tables J and K). Last updated February 7, 2014. http://www4.hrsdc.gc.ca/3ndic.1t4r@-eng.jsp?iid=52#M_1 (Accessed February ,2014).
- ※21 Environment Canada. Climate– Monthly Data Report for 2012 (table). "Toronto Lester B. Pearson International Airport Ontario." Last updated February 13, 2014. http://climate.weather.gc.ca/climateData/monthlydata_e.html?timeframe=3&Prov=ONT&StationID=5097&myRange=1937-01-01|2012-12-01&Year=2012&Month=01&Day=01 (Accessed February, 2014).
- ※21 Environment Canada. Climate– Monthly Data Report for 2012 (table). "International Airport Vancouver." Last updated February 13, 2014. http://climate.weather.gc.ca/climateData/monthlydata_e.html?timeframe=3&Prov=&StationID=889&myRange=1937-01-01|2012-12-01&Year=2012&Month=11&Day=3 (Accessed February, 2014).
- ※22 Statistics Canada. NHS Focus on Geography Series - Toronto. "Median after-tax income in 2010 for economic families and persons not in economic families, Toronto, Ontario, Canada". (Table 4) Last updated August 06, 2013. <http://www12.statcan.gc.ca/nhs-enm/2011/as-sa/fogs-spg/Pages/FOG.cfm?lang=E&level=3&GeoCode=535> (Accessed November , 2013).
- ※22 Statistics Canada. NHS Focus on Geography Series - Vancouver. "Median after-tax income in 2010 for economic families and persons not in economic families, Vancouver, British Columbia, Canada". (Table 4) Last updated August 06, 2013. <http://www12.statcan.gc.ca/nhs-enm/2011/as-sa/fogs-spg/Pages/FOG.cfm?lang=E&level=4&GeoCode=5915022> (Accessed November , 2013).
- ※23 Statistics Canada. NHS Focus on Geography Series - Toronto. "Median earnings of the most common full-year, full-time occupations in 2010, Toronto, Ontario, Canada" (Table 3) Last updated August 06, 2013. <http://www12.statcan.gc.ca/nhs-enm/2011/as-sa/fogs-spg/Pages/FOG.cfm?lang=E&level=3&GeoCode=535> (Accessed November , 2013).
- ※24 Statistics Canada. NHS Focus on Geography Series - Vancouver. "Median earnings of the most common full-year, full-time occupations in 2010, Vancouver, British Columbia, Canada". (Table 3) Last updated August 06, 2013. <http://www12.statcan.gc.ca/nhs-enm/2011/as-sa/fogs-spg/Pages/FOG.cfm?lang=E&level=4&GeoCode=5915022> (Accessed November , 2013).
- ※25 Statistics Canada. NHS Focus on Geography Series - Toronto. "Population aged 15 years and over by total income, Toronto, Ontario, Canada". (Table 2) Last updated August 06, 2013. <http://www12.statcan.gc.ca/nhs-enm/2011/as-sa/fogs-spg/Pages/FOG.cfm?lang=E&level=3&GeoCode=535> (Accessed November , 2013).
- ※25 Statistics Canada. NHS Focus on Geography Series - Vancouver. "Population aged 15 years and over by total income, Vancouver, British Columbia, Canada". (Table 2) Last updated August 06, 2013. <http://www12.statcan.gc.ca/nhs-enm/2011/as-sa/fogs-spg/Pages/FOG.cfm?lang=E&level=4&GeoCode=5915022> (Accessed November , 2013).
- ※26 Citizenship and Immigration Canada. Facts and figures 2012 – Immigration overview: Permanent and temporary residents. "Philippines, United States, Mexico, India, France, Australia, United Kingdom, People's Republic of China, Republic of Korea, Japan". "2012." Last updated August 07, 2013. <http://www.cic.gc.ca/english/resources/statistics/facts2012/temporary/08.asp> (Accessed January, 2014)
- ※27 Citizenship and Immigration Canada. Facts and figures 2012 – Immigration overview: Permanent and temporary residents. "Canada – Total entries of foreign workers by gender and occupational skill level." "2012." Last updated August 07, 2013. <http://www.cic.gc.ca/english/resources/statistics/facts2012/temporary/11.asp> (Accessed January, 2014).

発行日	2014年3月
発行者	日本貿易振興機構（ジェトロ） 〒107-6006 東京都港区赤坂1丁目 12-32 アーク森ビル（総合案内6階） TEL: 03-3582-5511 http://www.jetro.go.jp/indexj.html
制作	ジェトロ・トロント事務所 181 University Ave., Suite 1600 Toronto, Ontario M5H 3M7 Canada TEL: 416-861-0000
撮影・編集	TORJA Japanese Magazine http://www.torja.ca

Copyright© 2014 JETRO. ALL rights reserved.

本書の一部または全部の複写(コピー)・複製・転載及び記録媒体への入力等は、著作権法上での例外を除き、禁じます。これらの許諾については、ジェトロまでご照会ください。

【免責事項】

ジェトロは、本報告書の記述内容に関して生じた直接的、間接的、あるいは懲罰的損害および利益の損失については、一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。